

設計図書に関する質問書 兼 回答書

この質問書を次の送信フォームから送信してください。

工事名	配水管布設替工事
工事場所	京都市左京区八瀬野瀬町～八瀬近衛町 地内

No.	箇所(図面番号・仕様書番号等)	質問要旨	回答(上下水道局記入欄)
1	設計内訳書P-1 管材費 配管材料 見積参考資料 配管材料	急速空気弁 D(E)φ25 10kについて、 物価資料参照とありますが、調べますと、3種10k 内外面粉体塗装 径25mm ねじ込み式と、3種10k 合成樹脂塗装 径25mm ねじ込み式がありますが、どちらで計上されているか、御教示願います。	3種10k 内外面粉体塗装 径25mm ねじ込み式を参照しています。
2	鋳鉄管等配管材料の予定数量表 【仮設】(弁栓類・その他)の3行目及び4行目	・鉄蓋 消火栓鉄蓋 D H=150 10回転用 ・鉄蓋 仕切弁鉄蓋 D H=150 10回転用 とありますが、この材料の単価は1/10を計上すればよいのですか？	その通りです。
3	鋳鉄管等配管材料の予定数量	(鋼管)について 管材費の対象外となる材料をご教示ください。	「令和7年度 水道事業実務必携」第二部P9のとおり、内面が水に接する材料を管材費としています。
4	設計内訳書P2	発生土処理について、規格欄記載のとおり、DIDは無しとの認識でよろしいでしょうか。	その通りです。
5	設計内訳書P15	コンクリート構造物取壊しについて、規格欄に工法区分および低騒音・低振動対策の記載がありませんが、機械施工ならびに低騒音・低振動対策は不要との認識でよろしいでしょうか。	以下の適用条件について、明示できておりませんでした。 ・機械施工 ・低騒音・低振動対策不要
6	設計内訳書P23	街渠版取壊し工について、規格欄に工法区分および低騒音・低振動対策の記載がありませんが、機械施工ならびに低騒音・低振動対策は不要との認識でよろしいでしょうか。	以下の適用条件について、明示できておりませんでした。 ・無筋コンクリート ・機械施工 ・低騒音・低振動対策不要
7	設計内訳書P24	X線検査費について、作業区分はその他の選択でよろしいでしょうか。	その通りです。

工事名	配水管布設替工事
工事場所	京都市左京区八瀬野瀬町～八瀬近衛町 地内

No.	箇所(図面番号・仕様書番号等)	質問要旨	回答(上下水道局記入欄)
8	铸铁管等配管材料の予定数量	【弁・栓類その他】 急速空気弁(10k) D(E) φ 25mmにおいて想定されている材料は『FCD 内外面粉体塗装』でよろしいでしょうか。ご教示願います。	質問No.1を参照してください。
9	铸铁管等配管材料の予定数量	【弁・栓類その他】 『鉄蓋 空気弁鉄蓋(角小) D H=150』は『鉄蓋 空気弁鉄蓋D H=150』とは異なるのでしょうか。ご教示願います。	表記は異なりますが、使用する材料、単価は同じものです。
10	設計内訳書 P11	【無収縮モルタル】 材料の詳細をご教示願います。	設計内訳書の規格・条件欄に記載している通りです。 単価は京都市土木積算システム設計単価で公開されている単価を使用しており、 モルタル練の機械費・労務費も計上しています。
11	設計内訳書 P14	【土のう積工】 中詰土は流用土でよろしいでしょうか。ご教示願います。	その通りです。
12	設計内訳書 P22	【铸铁管切断】 単価補正は何%でしょうか。ご教示願います。	「令和7年度 水道事業実務必携」第二部P197に記載されている配管材の撤去について、「再使用しない」を適用しています。
13	設計内訳書 P22	【铸铁管吊上げ積込み】 単価補正は何%でしょうか。ご教示願います。	「令和7年度 水道事業実務必携」第二部P197に記載されている配管材の撤去について、「再使用しない」を適用しています。
14	設計内訳書 P23	【街渠版取壊し工】 街渠版の取壊しは無筋構造物か舗装版どちらでしょうか。ご教示願います。	質問No.6を参照してください。
15	設計内訳書 P24	【X線検査費】 規格が明示されていません。ご教示願います。	質問No.7を参照してください。